

Book

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

お任せ！数学屋さん (向井湘吾著、ポプラ社)

「数学で世界を救うこと」が将来の夢だという不思議な転校生がやってきました。どんな悩みでも数学で解決するという「数学屋」を開設し、華麗に解決していきますが「人の感情」という超難問にぶつかり…。

だれもしらないバクさんのよる (まつざわありさ著、絵本塾出版)

バクさんはみんなが寝静まったころにおきてきます。バクさんの仕事はこわーい夢を食べちゃうことです。その帰り道、さみしい夢に出会いました。こわい夢しか食べたことがないバクさんはどうするのでしょうか？

第3土曜日は 家族一緒に読書の日



さめちゃん

若者交流事業／メンバー3名

昨年秋から若者交流イベントの企画・運営を行っている「さめちゃん」活動はボランティアで、「鮫川村が好きだから」「鮫川村をもっと良くしたいから」と熱い思いを持って取り組んでいます。キャンプや収穫祭、天体観測など、鮫川村の魅力を伝えるために毎回趣向を凝らしたイベントを企画しています。「結婚」といわれず、まずはイベントを通して「鮫川村の良さ」を村内外の人に知ってもらうことが重要と考え、気軽にイベントに参加してほしいと呼びかけています。

「若い人たちが集まってワイワイできるコミュニティ作り」を目指し、今後は、参加者からの意見なども取り入れながら、周りを巻き込んで企画していきたいと意気込みを話してくれました。

集まってワイワイできるコミュニティ作り

さめがわを 彩る集い 15



TAKASHI SUZUKI

すずき・たかし ●昭和55年4月生まれ。赤坂東野字大石草在住。東白工業(株) (赤坂東野)勤務。趣味はドライブと地域振興。好きな言葉は「一期一会」。

鮫川村は小さな村ながらも明るく楽しいところです。四季折々に祭りやイベントがあり、これからの秋は「うまいもの祭り」や「商工JA祭」や各地の祭りが目白押しで、誰もが参加できるイベントがたくさんあります。それらを通じて鮫川村の良さを村内だけでなく、村外の方々にも知ってもらえたらと思います。

さて、季節は夏です。夏の風物詩と言えは花火。鮫川のお盆と言えは花火大会です。これを書いている八月上旬、私たち商工会青年部では「第三十五回鮫川花火大会」の準備を進めています。青年部では、年間にいくつかの事業がありますが、最も大きな催しが花火大会で、より良いイベントにしようと

村民【随想】リレー ①82

鈴木 隆さん

盛り上げようぞ、鮫川村

部員が一丸となって取り組んでいる真っ最中です。

日頃の行いの良さに定評のある青年部。きつと八月十五日の花火大会当日は晴天微風。たかさんの花火が鮫川の夜空に打ち上がっているに違いありません。それを見たら人たちが鮫川村の大切な思い出として、記憶に残してもらえれば幸いです。そんな思い出の一つでも多く残せるよう、青年部活動にまい進していきたいと思えます。

来年の花火大会は、八月十五日午後六時開会となりますので、お誘い合わせの上お越しください。

次は、鈴木亜希子さん(赤坂西野字大塚)にバトンタッチ！

短歌

「宜野湾市の饅頭の餡こだ普天間は」小学生の作文読まれる
鈴木イミ子
天然の蒟蒻芋を掘取りて食用となすわが家の習い
前田 初
出窓より覗く真白き木牡丹の花の賑わいに元気を貰う
佐藤 春枝
作物は汗の結晶との実感に今日も運ばす 畑への足
矢吹 定子
言葉亡き花にはあれど水やればしゃんと直りて暑さにも咲く
須藤 幸子
真っ直ぐに自分の道を進もうと先ずは記せし 日誌の頁
水野 珠子

俳句

蝉時雨孫等集めて独楽回す 中井 恒峯
若き日の喜怒哀楽を読む木陰 黒田 寿香
無我夢中あつという間の八月だ 斎須 信子
野あさみや朝草負いし母想う 鈴木 米子
びんびんころり散るが上手百合の花 土 竜 庵
人生に定年なしや吾亦紅 小松ハル工
帰省客待つ駅舎に釣忍 山本 恵子
葱寄せの草引き終り鎌ふるう 北條素人坂
梅漬ける紫蘇香らせて妻よきる 松本 精一
手花火や孫のゆかたの色を添え 前田 縫子
照ればにいに陰ればかなな咲暮らし 山本五十鈴

あの頃もあれで良かった等として 姑に仕えし忍耐を想う 関根 瑞恵
畑にも一人で無いな蛙いて蝶も飛び来る無心の友ら 溝井 清乃
自然との調和の中に作りたる野菜は育つ 心映して 坂本 伊紀
生きてこそこの世の花と自らを勇めて立てば蝶も舞い来る 一 平 子
それぞれに出払い静かなひと時をちぎり絵作りに心を寄せる 石井 幸子
猛暑にも負けじと励むGBの練習会は活気に溢れ 須藤シツ工
雨後ならず三日めぐりの筍が切つてもせまる軒下までも 松本 一郎
新国道行き交う車眺めつつ変わり行く村思いを馳せる 前田喜三子
三十度の暑さしのぎし夕まぐれ館山全山ひぐらしの鳴く 藤田千代子
野も山も桜の後の道の辺に山百合の花香り漂う 関根ハナヨ
猛暑日の続くを過ごす知恵比べ自然と聞く歳相応に 関根 富久
館跡の野草草までも刈り取られ夏日に伏せる草の香の立つ 板橋 源良
炎たつ如く咲きたる凌霄の朱色の花に亡夫を重ねる 関根キヌ子
早魃や猛暑の続くを耐えて咲く花に生きるの力教えられ 矢吹 一二
PPP如何なる答えか農民に先行き不安の暗雲覆う 北條 平

若者の広場 No.105

Young Plaza

藤田秀則さん

■今、夢中になっていることは何ですか？

周りの人がやっていることもあって、今年からサーフィンを始めました。これからどんどん海に行きたいと思います。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

今のところ予定はないですが、旅行に行きたいですね。いつか海外に住んでみたいとも思っています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

やっぱり自然がいっぱい

だと感じます。夏は涼しくて過ごしやすいです。ただ、まだ道が狭い所があるので走りやすい道路にしてほしいです。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

このままでいいと思います。これ以上変わったら「鮫川村」じゃなくなる気がします。今あるもので「これが鮫川村」といえるものをアピールしていけばいいと思います。

次は松本克樹さん（赤坂西野字上在住）の予定です。

今あるもので「鮫川村」をアピール



ふじた・ひでのり
平成3年10月15日生まれ 21歳
A型 てんびん座
趣味はサーフィンとスケートボード
渡瀬字田尻在住

各学年のPTA委員さんが企画・運営をし、趣向を凝らした内容で盛り上げていただきました。親子の楽しい思い出のページとなりました。



スイカ割り(2学年)



紙飛行機作り(1学年)

親子行事、大成功！
七月十三日から九月一日までの土・日曜日を中心に、鮫川小学校一年生から六年生までの親子が各地で楽しい交流会を実施しています。毎年の恒例行事となっておりますが、

学校だより

(107)

鮫川小学校編

学年	開催日	場所	内容
1年	7月21日(日)	鮫川小学校体育館	親子運動会(紙飛行機作り、スイカ割り、リレー)
2年	7月28日(日)	村トレーニングセンター	親子スポーツ大会(ストラックアウト、ドッジボール)
3年	8月3日(土)	鹿角平観光牧場	バーベキュー、クロスカントリーコース散策
4年	7月20日(土)	茨城県・大子町	おやき学校見学、おやき作り
5年	7月13日(土)	茨城県・東海村	村松山虚空蔵堂にて十三参り
6年	8月31日(土)~9月1日(日)	那須甲子自然の家	1泊2日の親子宿泊活動

(文・写真/鮫川小学校)

お手玉5つでできたときは喜んで話すハルエさん。



小 学校低学年のころからお手玉で遊んでいたという小松ハルエさん。当時は遊びも少ないので、ほとんどの女の子がお手玉をしていました。お母さんにお手玉の作り方や遊び方を習い、学校が休みの日に友達と一緒に遊んでいました。年齢を重ねてからもお孫さんたちと一緒に遊ぶ機会がありました。

お手玉が上達するためには、とにかく練習をすることが大切だといいます。最初はお手玉二つを使って、そこから三つ五つと数を増やしてリズムと感覚をつかんでいきます。また、お手玉を作る際にも上達するコツがあるそうです。布の大きさとあずきの重さを均等にすること。これが不ぞろいでは、同じ力加減でも安

定して投げることはできません。「もう少し若いときならお手玉五つでできたんだけど」と遠慮深く話すハルエさんですが、お手玉三つを手早く投げる手付きはとも九十一歳とは思えません。「ずっとお手玉をやってきて、手や目を動かしてきたおかげかな」と照れている様子でした。

おらの名人・達人 Vol.14

お手玉 小松ハルエさん

こまつ・はるえ/赤坂中野字新宿在住/91歳

小さいころ友達と一緒に遊んだ思い出深いお手玉遊び



手作りのお手玉は、孫たちにも遊んでもらおうと大切に使っています。